

師範學校
編輯
日本地誌略
一

78

188

B

6

9

1

4



師範學校編制

卷二

日本地誌略

明治七年
八月改正

文部省刊行

日本地誌略卷之一

總論

我日本國ハ亞細亞洲ノ東部ニ位セル帝國ニシテ中央ハ大地ヲ本州トシ其餘四大島ト數千ノ島嶼ヲ合セテ一國ノ形勢ヲナス

本州ノ地ハ最大ナリ其西南ノ二大島ヲ四國九州トシ北ノ二大島ヲ北海道樺太トス其他ノ島嶼ハ壹岐對馬淡路隱岐佐渡千島琉球等ナリ

全國ノ形ハ東北ヨリ斜ニ西南ニ延ク其長サ凡七百餘里幅員二萬三千七百三十方里アリ

東南ハ、太平洋海ニ面シ、西北ハ、支那海、日本海ヲ隔
テ、清國、朝鮮、及滿州ト相對シ、樺太ハ、北隅ニ在
リテ、魯西亞ト界ヲ交ヘ、琉球ハ、西南隅ニ在リテ、
臺灣島ト相望ム、

全國ヲ大別シテ、畿内、八道トシ、又此八道ヲ別テ
テ、八十四國トシ、更ニコレヲ小別シテ、七百十八
郡トス、其人口凡三千三百十六萬九千八百、歲入
三千百六十七萬六千四百石、

畿内 五國 山城 大和 河内 和泉 攝津
東海道 十五國 伊賀 伊勢 志摩 尾張 參河

遠江 駿河 甲斐 伊豆 相模 武藏 安

房 上總 下總 常陸

東山道 十三國 近江 美濃 飛驒 信濃 上野

下野 磐城 岩代 陸前 陸中 陸奥 羽

前 羽後

北陸道 七國 若狹 越前 加賀 能登 越中

越後 佐渡

山陰道 八國 丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆

出雲 石見 隱岐

山陽道 八國 播磨 美作 備前 備中 備後

安藝 周防 長門

南海道 六國 紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊豫

土佐

西海道 十一國 筑前 筑後 豐前 豐後 肥前

肥後 日向 大隅 薩摩 壹岐 對馬

北海道 十一國 渡島 後志 石狩 天鹽 北見

膽振 日高 十勝 釧路 根室 千島

畿内 五國

山城國

東南ハ、近江、伊賀、大和ニ接シ、西北ハ、河内、攝津、丹

波ニ界シ、連山三面ヲ圍ミ、中間ヨリ南方ニ通ジ

テ、地勢較平坦ナリ、乙訓、葛野、愛宕、紀伊、宇治、久世

綴喜相樂ノ八郡アリ、

比叡山ハ、京都ノ東北隅ニ聳エ、近江ニ跨ガル、其

山脈南ニ亘リテ、伊賀、大和ノ境ナル、鷲峰笠置ノ

諸山ニ連レル、

愛宕山ハ、京都ノ西北隅ニ在リテ、丹波ニ亘レル

高山ナリ、高雄山、嵐山ノ諸山、其麓ニ連リテ山勢南方ニ赴ケリ、

鞍馬山ハ、京都ノ正北ニ當リテ、比叡、愛宕兩山ノ間ニ位ス、其後ニ峙テルヲ、大悲山トス、

宇治川ハ、源ヲ近江ノ琵琶湖ヨリ發シ、宇治ニ至リテ、漸、大河トナリ、紀伊、久世兩郡ヲ界シ、伏見ヲ過ギテ、淀川トナル、

桂川又大壩川ハ、丹波ヨリ來リ、愛宕ノ麓ヲ過ギテ、高雄川ヲ併セ、嵐山ニ浴ヒテ南ニ流レ、久我ニ至リ、

鴨川ヲ併セテ、淀川ニ入ル、

加茂川或鴨川ニ作ルニ、三源アリ、一ハ百井峠ヨリ出テ

テ大原、八瀬及高野ヲ過ギ、至ル所、皆其地ヲ以テ稱セララル、一ハ小鹽山ヨリ出デ、鞍馬、貴船ヲ過

ギ、至ル所、亦其地ヲ以テ稱セララル、一ハ丹波ノ界ヨリ出デ、東流レテ、中津川ト云ヒ、貴船川ヲ併セ

テ加茂ニ至リテ、高野川ト相會シ、南流レテ京都ヲ貫キ、鳥羽ニ至リテ、桂川ニ入ル、

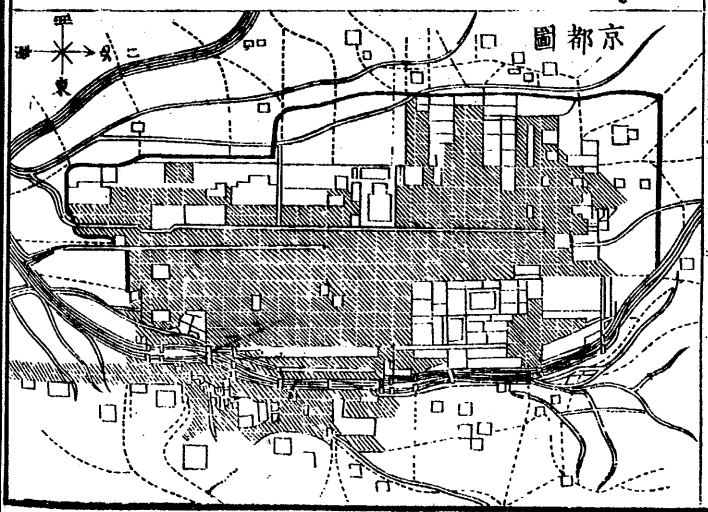
長田川ハ、伊賀ヨリ來ル、名張川ハ、大和ヨリ來リ、

二流、笠置山ノ麓ニ會シテ、木津川トナリ、曲流シテ、北ニ赴キ、淀ニ至リテ、桂川、宇治川ノ二流ト相

大和郡 卷之六 水部

合シ、一大河トナル、是ヲ淀川ト云フ、西流シテ、攝津河内ノ間ニ入ル、

京都ハ平安城ト稱シ、日本三府ノ其一ニシテ、延暦年間ヨリノ帝京ナリ、昔ハ左京右京ヲ分チ、九條ノ大路ヲ通シテ、皇居其北ニ位シ、規模宏大ナリ、



今ハ唯左京ノミナレトモ尚舊規ヲ存シテ、街衢端正ニ、道路洞通シ、加茂川ヲ以テ、其内外ヲ分チ、西ヲ洛中ト云ヒ、東ヲ洛外ト云フ、架スルニ、荒神口、三條、四條、五條ノ、四大橋ヲ以テス、洛外ハ、西ニ嵐山アリ、東ニ祇園、清水等アリテ、公園トス、山水明媚、風色絶佳ナリ、

伏見ノ、京都ヲ距ルコト僅ニ三里ニシテ、殷賑ヲ以テ名アリ、市街ハ、淀川ニ臨ミテ、東西往来ノ要路ニ當リ、運輸ニ便ナリ、

物産ハ、白川石、宇治茶、鴨川漆、西陣織、清水焼、松茸

筍、蕪、水菜、糸物、漆器、針、扇等ナリ、

大和國

東南ハ、伊賀、伊勢、紀伊ニ界シ、西北ハ、河内、山城ニ接ス、添上、添下、平群、廣瀨、葛上、葛下、忍海、宇智、宇陀、城上、城下、高市、十市、山邊、吉野ノ十五郡アリ、南部半國ハ、吉野郡ニ屬ス、郡中皆山ニシテ、紀伊ノ境ニ至レバ、重嶺、幽谷、人跡ナシ、國ノ北部ハ、連山東西ニ限リ、中間ノ地ハ、平遠ニシテ、岡陵處々ニ起伏セリ、

金峰山ハ、吉野郡ニ聳エタル高山ニシテ、大臺原

山ニシテ、次グ、其原ヲ、南中北ノ三分ヲ、南ハ、紀伊ニ連リ、東ハ、伊勢、伊賀ニ、跨ガレリ、

國見、高見、天岳、諸山ハ、大臺原山ノ東北ニ屏列シテ、伊賀、伊勢ノ境ヲ擁ス、

葛城ニ上、信貴、生駒ノ諸山ハ、西ニ連リテ、河内ノ國境ニ綿亘ス、

天川ハ、金峰山ヨリ發シ、山間ヲ曲流シテ、十津川トナリ、南ニ赴キ、深谷間ノ衆流ヲ併セ、紀伊ニ入リテ、新宮川トナル、

吉野川ハ、大臺原山ヨリ出デ、國中ヲ貫キ、西流

シテ、紀伊ニ入り、紀川トナル、

初瀬川ハ、國ノ中央ノ諸川ヲ聚メ、長谷、三輪ヲ歷テ西流シ、二階堂ニ至リテ、奈良川、相川、廣瀬川ト會シ、更ニ龍田川ヲ併セテ、河内ニ入り、大和川トナル、

奈良川ハ、山城ノ北境ヨリ發シ、衆流ヲ併セテ、奈良部山ヲ過ギ、南流シテ、初瀬川ニ會ス、相川及廣瀬川ハ、國ノ西境ヨリ發シ、北流シテ、亦初瀬川ニ會ス、

黒田川ハ、東境ノ諸水ヲ集メ、東流シテ、伊賀ニ入

リ名張川ニ會シテ、更ニ北ニ赴ク、

奈良ハ、又平城ニ作リ、或ハ南都ト稱ス、元明帝以下七代、七十餘年間ノ帝京ニレテ、市街今猶舊模ヲ存セリ、春日山其東ニ峙テ、奈良川其西ヲ流シ、舊西大寺、興福寺等ハ、大伽藍

春日山



アリシカ、今ハ東大寺ノミ存レ、其金銅佛ハ世ニ奈良ノ大佛ト稱シテ、聖武帝ノ建立ナリ、其他舊蹟尚多シ、

吉野山ハ吉野川ノ南岸ニ在リ、滿山皆櫻樹ニシテ、花時ノ風景最美ナリ、此山ハ後醍醐帝ヨリ、南朝三世五十餘年ノ行在所ナリ、

此國ハ神武帝基業ノ地ニシテ、歷朝ノ皇居四十山陵三十ニ處、處々ニ散在セリ、
物産ハ吉野葛、吉野紙、奈良晒、墨、木綿、煙草、漆、藥品、木材、銅、水晶等ナリ、

河内國

東南ハ山城、大和、紀伊ニ接シ、西北ハ和泉、攝津ニ界ス、錦部、石川、古市、安宿、大縣、高安、河内、讚、良、茨、田、交野、若江、淀川、志紀、丹南、丹北、八上ノ十六郡アリ、
東南ハ群山連亘シ、西南ハ地勢平衍ナリ、
金剛山大和ト云フ、ハ東南隅ニ峙テハ、高山ニシテ、此ヨリ山脈左右ニ分レテ、其北ニ赴ク者ハ、
二上、信貴大和ト云フ、ハ連山ナリ、西ニ赴ク者ハ、
早峠、紀見峠、及岩湧、天野ノ諸山ナリ、
大和川ハ大和ヨリ来リ、國ノ中央ヲ貫キ、西流シ

テ、狹山池ノ下流ヲ併セ、和泉攝津ノ間ニ入ル、
東條川ハ、金剛山ヨリ出テ、西條川ハ、藏王峠九重
峠ヨリ發シ、二水相會シテ、石川トナリ、北流シテ、
大和川ニ入ル、

天野川ハ、天野山ヨリ發シ、狹山池ニ入リ、再出テ
テ北ニ赴キ、大和川ニ入ル、

長瀬玉串ノ兩川ハ、大和川ノ分派ニシテ、共ニ國
ノ西北ヲ環流シ、大和ノ境ナル峰ヨリ出ル所
ノ、寢屋川ト相會シテ、西ニ赴キ、攝津ニ至リテ、淀
川ニ注グ、天川、船橋川モ、亦東北隅ノ諸水ヲ集メ

テ、淀川ニ入ル、

淀川ハ、山城ヨリ來リ、國ノ北境ヲ西流シテ、攝津
ニ入ル、

物産ハ、木綿、茶、煙草、道明寺糶、諸藥品等ナリ、

和泉國

東南ハ、河内、紀伊ニ界シ、西ハ海ニ向ヒ、北ハ攝津
ニ接ス、大鳥和泉、泉南、日根ノ四郡アリ、此國ハ、畿
内中ノ小國ニシテ、東南ニ數山アリ、西北ノ地ハ
皆平坦ナリ、

妙見、槇尾、牛瀧、葛城、大鳴、兩森ノ諸山、東南ニ屏列

シテ、紀伊ノ境ヲ最峻嶮ナリトス

石津、大津、牛籠津、田、男里、岡田等ノ川ハ皆連山ノ間ヨリ發シ、直流シテ海ニ入ル、平時ハ、沙礫ニシテ、唯霖雨ニ水流ヲ見ルノミ、

西ハ、淡路島ニ對シテ、一ノ内海ヲナス、コレヲ茅渟海ト云フ、紀伊、攝津其南北ヲ限レリ、

大和川ハ、河内ヨリ來リテ、北境ヲ限リ、堺浦ニ至リテ、海ニ入ル、

堺浦ハ、大和川ノ口ニ跨リ、攝津ノ境ニ在リ、古來有名ノ港津ニシテ、昔ハ外國ノ互市場タリ、

其運漕ニ甚便ナルヲ以テ、市街猶富盛ナリ、

物産ハ、木綿、麻布、鐵器、刀、庖刀類、櫛、織物、朱、丹、茶等ナリ、

攝津國

東南ハ、山城、河内、和泉、及海ニ接シテ、西北ハ、播磨、丹波ニ界ス、往古東成、西成、島上、島下、豐島、河邊、武庫、菟原ハ、八部有馬能勢ノ十二郡アリ、

淀川ハ、山城ヨリ來リ、河内ノ境ニ浴ヒ、西流シテ、江口ニ至リ、一派ヲ分ツ者ヲ、神崎川トス、直ニ西流シテ、尼崎ニ至リ、海ニ入ル、正流ハ、南下シテ、長

柄ニ至リ、又一派ヲ分ツ、是ヲ中津川ト云フ、即古
ノ長柄川ナリ、亦西流シテ、海ニ入ル、正流ハ、此ヲ
リ更ニ西南ニ赴キ、大坂ヲ貫キテ、安治、木津ノ兩
川トナリ、天保山ニ至リテ、海ニ入ル、

淀川以南ノ地ハ、平坦ニシテ、東ハ、河内ニ接シ、南
ハ、大和川ヲ以テ、和泉ヲ限リ、西ハ、海ニ臨ム、其西
隈ヲ、住吉浦ト云フ、

淀川以北ノ地ハ、岡陵相連リ、北境ニ至リテハ、其
山岳皆峻嶮ナリ、

池田川又猪名川ハ、丹波ノ境ヨリ發シ、箕面、石登諸瀑

布ノ下流ヲ併セテ、池田、伊丹ノ間ヲ過ギ、神崎川
ニ會シテ、海ニ入ル、

武庫御影、摩耶、再度等ノ諸山ハ、西部郡中ニ在リ
テ、東西ニ連リ、一帯ノ山脈ヲナシテ、南ハ海ニ面
ス、北ハ即有馬郡ナリ、

有馬郡ハ西北ノ國境ヨリ、東能勢郡ニ連リ、山嶺
起伏ス、此地ノ温泉、古ヨリ名アリ、

菰豆川、有馬川ハ、二水相會シテ、有馬郡中山間ノ
諸水ヲ併セ、南流シテ、生瀨川トナリ、西宮ニ至リ、

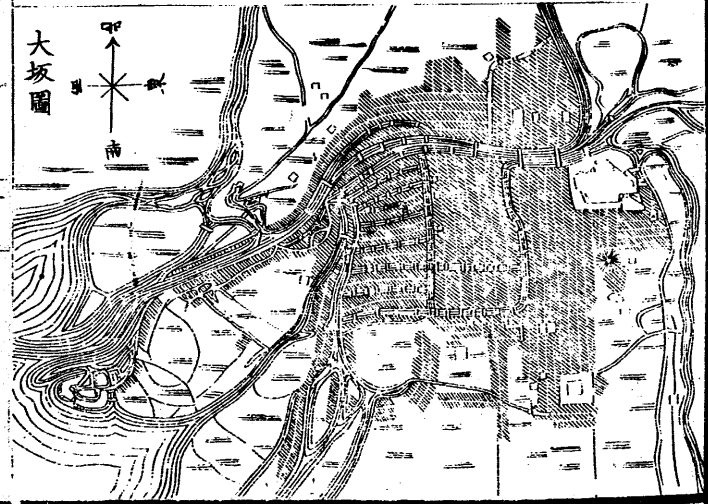
武庫ノ海ニ入ル、武庫川是ナリ、

津戸川蘆屋川生田川湊川刈藻川ノ諸水ハ源ヲ
武庫摩耶諸山ノ澗谷ヨリ發シ直流シテ海ニ入
ル但平時ハ水流ヲ見ズ

須磨浦ハ國ノ西隅ニ在リテ前ハ海ヲ隔テ淡
路島ニ對シ後ハ鐵拐嶽鉢伏山鶴越等ノ諸山ヲ
負ヒ海濱ハ白沙青松相映シテ西播磨ノ舞子濱
ニ連リ風光明媚愛スベシ古ヨリ勝地ヲ以テ稱
セラル

大坂ハ古ノ浪速ノ地ニシテ三府ノ一ニ居ル
仁德帝ノ都址ナリ其城ハ豐臣氏ノ建築ニレ

テ高壁深溝ノ名アリ
シガ今ハ唯牙城ヲ存
スルノミ市街淀川ノ
南北ニ跨リ其水ヲ引
キテ東横堀西横堀等
ノ溝渠トス支溝ハ縱
横疏通シテ長堀道頓
堀等トナリ大川淀川ノ正
流ヲニハ架スルニ難
云フ天滿天神ノ三大橋



日本地理考卷之二

大坂圖

ヲ以テズ、其他橋梁ノ多キコト勝ゲテ數フバ
カラズ、北ニ天満宮ノ大社アリ、南ニ天王寺ノ
巨刹アリテ、生玉高津座摩等ノ諸社ハ、市中ニ
散在シ、公園ノ設ニ供スルニ足リ、而ニハ、松島
アリテ外國ノ互市場々リ、此府ノ地勢、西ハ南
海及中國ノ要樞ニ當リ、船舶河口ニ輻湊シ百
貨流通、運輸便利ニシテ、皇國第一、繁富ノ地ナ
リ、
神戸ハ五港ノ一ニシテ、湊川ヲ夾ミテ、兵庫ト
接シ、和田岬其西ニ斗出シテ、灣内巨艦數百艘

ヲ泊セシムベキ、外國互市場中ノ佳地タリ、神
戸、兵庫兩地ノ市街、櫛比シ、湊川神社、福原都趾
皆其間ニ在リ、

物産ハ、御影石、池田炭、伊丹酒、紙、鹽、油、木綿、陶器、藤
蓆、檜蓆、真田織、一閑張、薄雪、昆布等ナリ、

日本書紀卷之二十一
東海國

東海道 十五國

伊賀國

東南ハ伊勢ニ界ヒ西北ハ大和山城近江ニ接ス
伊賀山田阿拜名張ノ四郡アリ
天岳ハ西南ニ峙チ伊勢大和ノ間ニ跨ガリ其山
脈左右ニ延キテ東ハ七見長野笠取等ノ諸嶺ニ
亘リテ西ハ黒田峠ニ連リ山岳重疊シテ四境ヲ
環擁シ國中ニモ亦赤目四十八瀧赤岩尾等ノ諸
溪澗アリテ山勢起伏シ陵谷相連レリ
黒田川ハ大和ヨリ来リ北流シテ名張川ニ入り

日本書紀卷之二十一
東海國

黒田峠ノ麓ニ浴ヒテ復大和ニ入ル

長田川ハ七見嶺ヨリ出デ、西北ニ流レ、國ノ中

央ヲ貫キ、上野ノ西ニ至リテ、服部川及北川ニ會

レ、山城ニ入リテ、木津川トナル、

上野及名張ハ山間ノ一小都會ナリ、

物産ハ石炭、硫黄、磨砂、及伊賀焼ト稱スル、陶器ノ

類ナリ、

伊勢國

南ハ志摩ニ隣リ、東ハ内外ノ海ニ臨ミ、西北ハ紀

伊、大和、伊賀、近江、美濃、尾張ニ界ス、桑名、員辨、朝明

三重、鈴鹿、河曲、奄藝、安濃、壹志、飯高、飯野、多氣、度會
ノ十三郡アリ、

雲山川ハ源ヲ尾岳ヨリ發シ、東流シテ、國ノ中央

ヲ横斷シ、全國ノ大勢ヲ分ツ、南ヲ南伊勢トシ、北

ヲ北伊勢トス、其流辛洲ノ西ニ至リテ、兩旅トナ

リ、内海ニ入ル、此海ヲ伊勢海ト稱ス、

南勢壹志以下五郡ニハ、白惠、矢鐵ノ諸山西北ニ聳エ、又

國見、大臺原山等アリテ、大和、紀伊ニ連リ、珠ニ峻

秀ナリ、

櫛田川ハ高見國見ノ兩山ヨリ發シ、東流シテ、兩

旅トナリ、正流ハ、松坂ノ南ヲ過ギテ、内海ニ入ル、
支流ヲ被川ト云フ、大淀浦ニ注グ、
宮川ハ、大臺原山ヨリ出デ、東流シ、田丸ヲ過ギ、
大湊ニ至リテ、内海ニ入ル、

松坂及田丸ハ、國中最繁華ノ街市タリ

此國ノ南境ハ、大洋ニ向ヒ、海濱ハ、嶮岨ニシテ、紀
伊ノ熊野ニ連レリ、コレヲ南島ト云ス、

朝熊山ハ、志摩ニ跨ル、高山ナリ、其東ニ二見浦アリテ、
内海ニ臨ミ、有名ノ地タリ、

北勢ハ、連山ヲ負ヒテ、内海ニ臨ム、中間ハ、地勢率

平坦ニシテ、能褒野、廣瀬野、豊久野等アリ、

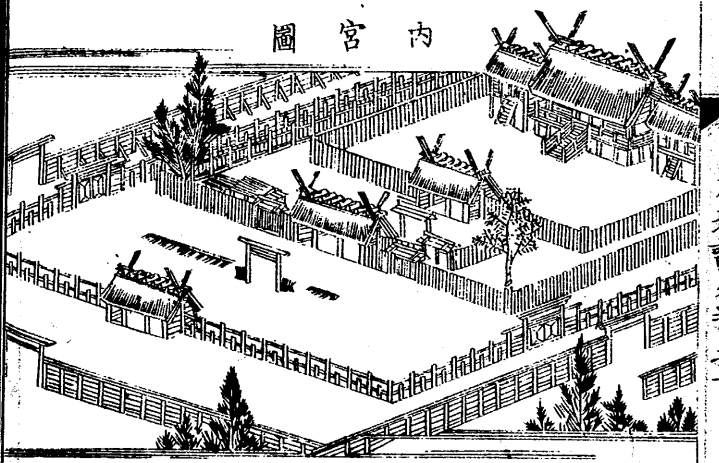
鈴鹿山西北隅ニ聳エテ、靈山、長野峠等、其南ニ連
リ、伊賀ノ境ニ亘レリ、其前ニ、經峰アリ、

冠岳、釋迦、喜藤原岳ノ山脈ハ、鈴鹿山ノ北ニ列シ、
近江ノ界ヲ限リテ、美濃ニ連レリ、

揖斐川ハ、美濃ヨリ来リ、多度山ノ麓ヲ過ギテ、木
曾川ニ入ル、

木曾川ハ、尾張ノ境ニ浴ヒ、長島ヲ抱キテ、桑名ニ
至リ、内海ニ入ル、

町屋川ハ、其辨川ト源ヲ藤原岳ヨリ發シ、關川ハ、



鈴鹿山ヨリ出テ、皆内
 海ニ入ル、共ニ北勢ノ大
 川ナリ、
 三重川ハ冠岳ヨリ出テ
 テ、四日市ノ海ニ注グ、塔
 世川ハ經テ峰ヨリ發シ、安
 濃津ニ至リテ、阿漕浦ニ
 入ル、
 桑名四日市及安濃津
 ハ、北勢ノ佳港ノリ、宇

治山田ノ二郷ハ、官川ノ南ニ在リテ川内ト稱
 ス、古市川崎等ト街市相接シ、東ハ大湊ニ至リ、
 南ハ朝熊山ニ連ル

内宮天照皇大神宮ハ、宇治ノ五十鈴川ノ上ニ在リ、外
 宮豐受大神宮ハ、山田ニ在リ、

物産ハ、茶、油、蠟、木綿、津綆子、漆、形紙、蝦、鮓、時雨蛤、塗
 物、煙草、菜種、鹿尾菜、銅、石炭、及萬古燒ト稱スル、陶
 器ノ類ナリ、

志摩國

北ハ伊勢ニ界シ、其他ハ海ニ臨ム、答志英虞ノ二

郡アリ、

此國ハ伊勢ノ南端ニ在ル、最小ノ國ニシテ、岬角海中ニ突出シ、港灣頗多シ、

麥崎ハ、最南ノ岬ニシテ西南ハ紀伊ノ沙御崎ニ

對ス、其間ヲ熊野浦ト云フ、東ハ遠州灘ヲ隔テ、

伊豆ノ岬ト遙ニ相對ス、

御座崎ハ、西ニ出タル岬ニシテ其灣内ヲ立神ト

云フ、海岸ハ、西ニ連リテ、伊勢ノ南島ニ亘ル、

安乘崎ハ、東ニ斗出シテ的屋港ノ南ヲ限ル、

鳥羽ハ、的屋ノ北ニ竝バル港ニシテ挑取ノ諸

島、其前ニ羅列ス、港内

水深クシテ、殊ニ泊舟

ニ宜シ、

日和山ハ、鳥羽港ノ岸ニ

聳エテ、參河ノ伊良胡崎

ト相對シ、内海ノ口ヲナ

ス、

朝熊山、山伏崎等ハ西ニ

連リテ、伊勢ノ境ヲ限レ

リ、

鳥羽港圖



池田川ハ、源ヲ連山ノ間ヨリ發シ、東流シテ、的屋港ニ注グ、

物産ハ、石花菜、鹿尾菜、荒海布、鮑、鱈、堅魚等ナリ、

尾張國

東ハ、參河ニ接シ南ハ、内海ニ臨ミ、西北ハ、伊勢美濃ニ界ス、知多、愛智、丹羽、春日井、海東、海西、葉栗、中島ノ八郡アリ、

小牧山平野ノ中央ニ特立ス、其北ニ二宮山アリ、東猿投山ニ連リ、參河ノ境ヲ限レリ、

繼鹿尾山、白山ハ、又小牧山ノ北ニ在リ、其山勢美

濃ニ亘リテ、信濃ノ木曾

山ニ連レリ、山間ニ入鹿

池アリ、

一色川ハ、上流ヲ土岐川

ト云フ、源ヲ美濃ヨリ發

シ西流シテ、内津川ヲ併

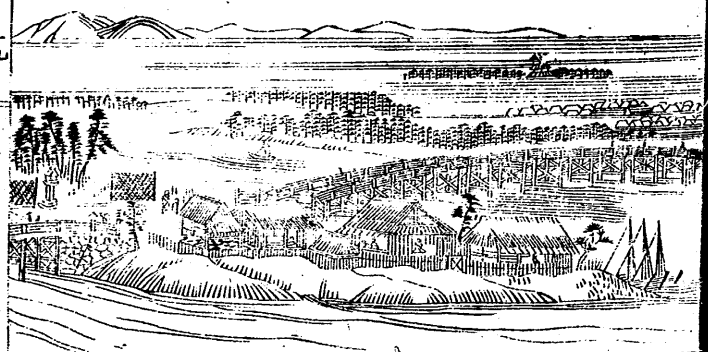
セ勝川トナリ、大野木邑

ニ至リテ、參河ノ境ヨリ

來レル、矢田川ト相會シ、

更ニ南流シテ、枇杷島及

枇杷島橋圖



日本地理志卷之二

九

萬場ヲ過ギテ、海ニ入ル、

一色川ノ西北ハ、地形平坦ニシテ、美濃、伊勢ニ連
リ、木曾川ヲ以テ國ノ西境ヲ限レリ、

木曾川ハ東流シテ、犬山ニ至リ、大河トナリ、分流
數派、國中ヲ環流ス、正流ハ、國境ニ沿ヒテ、更ニ南
ニ赴ク、其分ル、者ヲ佐屋川トス、下流ハ復合シ
テ、再數派トナリ、各内海ニ入ル、

蟹江、日光等ノ諸水ハ、即木曾川ノ分派ニシテ、水
流縱横、共ニ南下シテ、内海ニ注グ、

鳴海、瀨田、瀨田、井ニ内海ノ濱ニシテ、熱田ニ宮

ノ驛アリ、伊勢ニ渡ルノ要津ナリ、此驛ニ、熱田、神
宮アリテ、草薙、劍ヲ奉祀ス、

知多郡ハ、鳴海瀨ノ東ニ、突出セル大岬ナリ、最南
ノ地ヲ幡豆崎ト云フ、志摩ノ鳥羽ト、參河ノ伊良
胡崎ト、中間ニ出テ、内海ヲ東西ニ分ツ、東ノ
内海ヲ衣浦ト云フ、西ノ内海ハ、即所謂伊勢海ナ
リ

篠島、日間賀島、佐久島ハ、三岬ノ間ニ散在シテ、地
形相逆接セリ、

名古屋ハ、有名ノ城市ニシテ、西ハ、枇杷島ニ至

リ、南ハ、熱田ニ連ル、其地、東西、兩京ノ中道ニ當
リ、海陸ノ運輸、共ニ便ナルヲ以テ、高賈富庶、其
繁華、三府ニ亞グリ、

物産ハ、水晶、瑪瑙、絹、木綿、鳴海紋、瀬戸焼、常滑焼、大
根、酒、醋、鐵物類、海鼠腸、名古屋扇等ナリ、

參河國

東ハ、遠江ニ接シ、南ハ、海ニ臨シ、西北ハ、尾張、美濃、
信濃ニ界ス、八名、設樂、賀茂、額田、碧海、幡豆、寶飯、渥
美、八郡アリ

渥美郡ハ、東ヨリ西ニ出テタル、大岬ニシテ、尾張

ノ知多郡ト相對シ、内海ヲ包メリ、是即、衣浦ナリ
其西端ヲ伊良胡崎トス、志摩ト相對シテ、伊勢海
ノ口ヲナス

田原山ノ、渥美郡ノ中央ニ峙チ、其南ハ、遠江灘ニ
面フ、

本宮岳ハ、國ノ中央ニ在リ、其東麓ハ、廣野、遠ニ連
リ、豐川ノ岸ニ至ル、コレヲ本野原ト云フ、

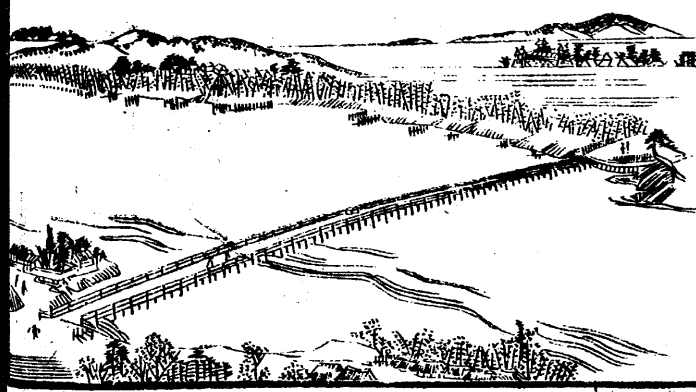
石巻山ハ、豐川ノ東ニ聳エ、嵩瀨、鳶巢ノ諸山ト共
ニ屏列シテ、遠江ノ境ヲ限シリ、

神田山ハ、本宮岳ノ北ニ在リ、煙巖山一名、扇
來寺山ト相

對之、重山深嶺、其後ニ起
伏レテ、美濃、信濃ノ境ニ
亘ル、

矢矧川ハ、信濃ヨリ來リ、
北境ヲ環流シテ、足助川
ヲ併セ、南ニ下リ、岡崎ヲ
過ギテ、内海ニ入ル、
大平川一名男川ハ、本宮岳ヨ
リ發ヒ、西流シテ岡崎ノ
南ニ至リ、矢矧川ニ入ル、

岡崎城外矢矧橋圖



豐川ハ、神田山ヨリ發ヒ、長篠ヲ過ギ、東境ヲ環流
シテ吉田ニ至リ、内海ニ入ル、此三大川竝ニ有名
ノ流ニレテ、舊、矢矧川ニ架スル所ノ橋、其長サニ
百八間、豐川ニ架スル所ノ橋、其長サ百二十間ア
リ、但大平川ハ、二川ニ比スレバ、較小ニシテ、其橋
長サ五十間ニ過ギズ
物産ハ、紙、木綿、生糸、漆塗物、及、磁石、硝石、雲母、胡、白
魚等ナリ、

遠江國

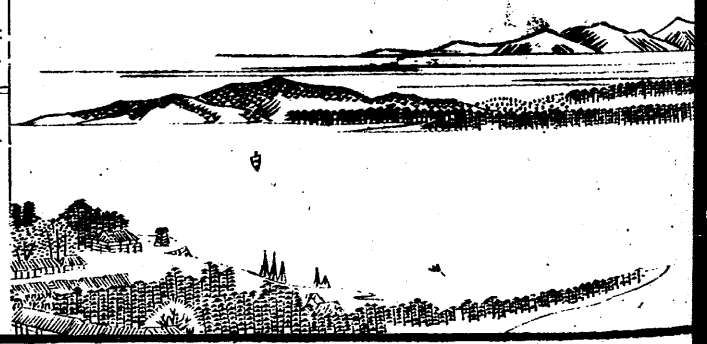
東ハ駿河ニ接ヒ、南ハ大洋ニ臨ミ、西北ハ、參河、信

濃ニ界ス、榛原、周智、佐野、豊田、山名城、東磐田、長上、鹿玉、引佐、濱名、敷智ノ十二郡アリ、秋葉山ハ、國ノ中央ニ聳エタル、大山ニシテ、其東北ハ、重嶺、攢峰、信濃ニ連リ、殆ド人跡ナキニ至レリ、

高天神山ハ、海濱ニ峙テ、ル高山ナリ、其東ニ布引原、磐田、原ノ廣野アリ、御前崎（屬崎ト云ス）ハ、釘浦ノ南端ナル岬角ニシテ、外洋ニ突出シ、一島、其前ニ當レリ、コレヲ沖御崎ト云ヘリ、海ヲ隔テ、伊豆ノ岬、及志摩ノ崎ト、東西

相對ス、水程七十五里、其間此國ニ常ルヲ以テコレヲ遠州灘ト稱ス、天龍川ハ、信濃ヨリ來リ、直ニ南流シテ、秋葉山ノ西麓ヲ過ギ、國ノ中央ヲ貫キ、分シテ、大天龍、小天龍ノ二派トナリ、掛塚、湊ニ至リテ、海ニ注グ、大井川ハ、信濃ノ境ヨリ

圖切今口湖名淡



發シ、南流シテ、駿河ノ境ヲ晝リ、釘浦ニ至リテ、海ニ入ル。

三日野川ハ、天龍大井兩川ノ間ヲ過ギ、大口諸井ノ諸川ヲ併ヒ南流シテ、海ニ入ル其地ヲ福田湊ト云フ。

三方原ハ、國中第一ノ廣野ニシテ、天龍川ノ西ニ在リ、南ハ、海濱ニ亘リ、西ハ、濱名湖ニ連ル、即古ノ引馬野ナリ。

濱名ノ城市ハ、原中ニ在ル、小都會ナリ。
濱名湖ハ、西南隅ニ在ル大湖ナリ、東西四里、南北

五里餘、中ニ引佐細江、猪鼻湖アリ、東ハ、佐鳴湖ニ通シテ、西ニ高師山峙テ、風景頗佳ナリ、古ハ湖水一條ノ川トナリ、海ニ注ギシニ、明應年中、其間ノ地一里餘地震ノ為ニ陷リ、潮水互ニ通ズルニ至ルリ、因リテ其地ヲ令切ト稱ス。

物産ハ、蜜柑、松茸、納豆、鮒、鰻、葛粉、木綿、葛布、塗物等ナリ。

駿河國

東ハ、相模ニ接シ、南ハ、伊豆及海ニ臨ミ、西北ハ、遠江、信濃、甲斐ニ界ス、駿東、富士庵原、安部志田、益頭

有度ノ七郡アリ、

富士山ハ、遠江、甲斐ニ跨リ、直立千二百丈餘日本第一ノ高山ニシテ、四時白雪ヲ戴ケリ

愛鷹山ハ、富士山ノ前面ニ突立シ、富士沼、其麓ニ在リコレヨリ南、田子浦ニ至ルマデテ、浮島原ト云フ、

足柄山ハ、相模ノ境ニ亘レル高山ニシテ、富士山ノ東ニ連レリ、

黄瀬川ハ、富士、足柄ノ山間ヨリ發シ、竹下ヲ過ギ、南流シテ、沼津ニ至リ、伊豆ノ狩野川ニ合ヒテ、海

ヲ、京橋トス、其東南ニ、五市場アリテ、外國ト貿易ス、コレヲ築地ト云フ、其東北ヲ、隅田川ノ海

口トス、俗此川ヲ呼ビテ、大川ト云フ、架スルニ、

六大橋永代橋、新大橋、兩國橋、扇橋、大川橋、千代大橋ヲ以テス、淺草上

野等ヲ公園トシ、四民群遊ノ處ト定メ、多摩川及井頭ノ、水ヲ引キテ、地底ニ水道ヲ通シ、街衢

ノ間ニ井ヲ設ケコレヲ汲ヒテ飲料トス、

横濱ハ、五港ノ一ニシテ、羽田ノ南ニ在リ、海水灣入シテ、本牧、岬、其東ニ突出ス、港内水深クシ

テ、大艦巨船、常ニ輻湊ス、街衢壯麗、外國五市場

中、此地ヲ最咸ナリト
ス、

物産ハ、秩父絹、八王子織物、玉川鮎、淺草海苔、苧、麻、木綿、銅、石材、紫草、漆、草、漆器、陶器、鍋、釜、類、白魚、團扇、錦繪等ナリ、

安房國

東南西ハ、海ニ面ヒ、北ハ上總ニ界ス、安房朝東長

狹、平群ノ四郡アリ、

全國山多クシテ、三面共ニ海ニ臨ミ、沿岸皆絶壁ニシテ、海中岩礁多シ、

洲、崎ハ、西南ニ突出セル、岬角ナリ、相摸ト相對シテ、内海ノ口ヲナス、

館山、勝山ノ二港ハ、内海ノ灣ニ在リテ、其最泊舟ニ宜シキヲ、館山トス、勝山ノ東ニ、富山アリテ、勝景ヲ以テ著ハル、

鋸山ハ、内海ノ岸ニ聳エテ、上總ニ跨リ、峰形鋸齒ノ如シ、故ニ此名アリ、

横濱港圖



横根、花立、清澄ノ諸山ハ、
 上總ノ境ニ連レリ、
 加茂川ハ、横根山ノ麓ヨ
 リ發シ、連山ニ沿ヒ、東流
 シテ、外海ニ入ル、
 湊川ハ、富山ノ陰ヨリ發
 シ、西流シテ、館山ノ港ニ
 注グ、
 野島崎ハ、最南ノ岬ナリ、
 此ヨリ東ノ海上ヲ、房州

錫山圖



士山ノ北麓ニ連レリ、
 巨摩、八代、山梨三郡ノ水、
 四方ヨリ湊注レテ、皆笛
 吹釜梨ノ二川ニ入ル、笛
 吹川ハ、源ヲ雁坂峠ノ西
 ヨリ發シ、釜梨川ハ、源ヲ
 駒岳ヨリ發シ、七里岩ノ
 下ヲ過ギテ、笛吹川ト相
 會シ、南流シテ、大河トナ
 リ、急湍直下シ、緞澤ヲ經

猿橋圖



テ身延山ノ東麓ヲ過ギ駿河ニ入ル富士川是ナ
リ、

荒川ハ金峯山ヨリ發シ南流シテ甲府ヲ過ギ、
吹川ニ入ル、

重川ハ源ヲ大菩薩峠ノ南ナル黒川山ヨリ發シ、
日川ハ源ヲ天目山ヨリ發シテ同ジク、笛吹川ニ
入ル、

鹽川ハ八ヶ岳ノ水ヲ集メテ、韭崎ニ至リ、釜梨川ニ
入ル、

蘆川ハ精進本巢川口諸湖ノ伏流ヲ導キ、市川ニ

至リテ富士川ニ注ギ、早川ハ白峯山ヨリ發シ、身
延山下ニ至リテ釜梨川ニ入ル、

甲府ハ小都會ノ地ニレテ市街頗繁盛ナリ、
都留郡ハ相摸ニ接シ、天目山ノ山脈ヲ以テ其西
ヲ限リ、連山四周、川流皆南ニ注ギ、地形風土、別ニ
一郷ヲ為スヲ以テ稱シテ郡内ト云フ、

丹波川ハ郡ノ北境ヲ流レテ武藏ニ入り、多摩川
トナル、道志川ハ南境ヨリ出デ、相摸ニ入ル、
桂川ハ山中湖ヨリ出デ、都留花咲ノ諸川ヲ併
セテ亦相摸ニ入ル、此川ニ架セル橋ヲ猿橋ト云

フ、下流ハ即馬入川ナリ、
物産ハ、金、水晶、石炭、硯、材木、絹、紬、諸織物、梨、柿、葡萄
等ナリ、

伊豆國

北ハ相摸駿河ニ界シ、東西南ノ三面ハ海ニ臨ミ
君澤、田方、那賀、賀茂ノ四郡アリ、

地形ハ、北ヨリ南ニ延キ、海面ニ斗出セル半島國
ナリ、西ノ海ハ、即遠州灘ニシテ、東ノ海ヲ相摸灘
ト稱ス、

天城山ハ、相摸ノ箱根足柄ニ連リテ、國ノ中央ニ

聳ユル高山ニシテ、四郡

ノ地皆其麓ヲ繞レリ、

狩野川ハ、天城山ノ北麓

ヨリ發シ、北流シテ、北條

葦山ヲ過ギ、賀茂川ヲ併

セテ、駿河ニ入ル、

河津川ハ、天城山ノ南麓

ヨリ發シ、東流シテ、相摸

灘ニ注ク、

稻生澤川モ、亦天城山ノ

下田港圖



南麓ヨリ出テ南流シテ、下田港ニ入ル

下田ハ南端ニ在ル一港ニシテ、爪木崎其東ニ突

出シ灣内水深ク船舶ノ碇泊ニ便ナリ、

石廊崎ハ最南ノ岬角ナリ、西海ヲ隔テ、遙ニ志

摩ト相對ス前面ニ神兒元島アリテ燈臺ヲ設ケ

タリ、

雲見崎ハ石廊崎ノ西ニ在リ、遠江ノ御前崎ト相

對ス、

江梨崎ハ雲見崎ノ北ニ突出シタル岬ナリ其灣

内ハ船ヲ泊スルニ宜シク、駿河ニ亘リテ江浦ト

稱ス、

熱海ハ有名ノ温泉場ニシテ、其地相摸灘ニ臨ミ、

川名崎其南ニ斗出シテ、海水灣ヲナシ、日金山其

後ニ峙テ、眺望絶佳ナリ

大島ハ下田ノ東南十三里ニ在リ、三原山高ノ聳

エテ、常ニ流烟ヲ噴ク、

新島ハ大島ノ南十里ニ在リ、島中ニ宮塚山向山

ノ二峰アリ、利島式根島此ニ屬ス、

神津島ハ新島ノ正南八里ニ在リ、天井山高ク聳

エテ、全峰白沙ヲ積メルガ如シ、

三宅島ハ、神津島ノ東南十里ニ在リ、島中ニ噴火山アリ、コレヲ雄山ト云ス、三倉島此ニ屬ス、以上ヲ伊豆ノ七島ト稱ス、

八丈島ハ、七島ノ正南ニ在リ、下回ヲ距ル島中ニ、

東山、西山アリテ、西山最高シ、小島青島此ニ屬ス、

小笠原島一名無ハ、太平洋中ニ羅列セル群島ニ

レテ、其數大小八十九アリ、八丈島ヲ距ル北島南

島殊ニ大ナリ

物産ハ、金、硫黄、小松原石、磐城石、八丈絹、樟黄揚諸材、薪炭、雁皮紙、椿油、堅魚、鮫、鮓、鰈、及、香蓆、山葵、海苔、

石花菜等ナリ、

相摸國

南ノ外洋ニ臨ミ、東ハ内海ニ接シ、西北ハ伊豆駿

河甲斐武藏ニ界ス、足柄上足柄下津久井愛甲大

住、陶綾、高座、鎌倉三浦ノ九郡アリ、

三浦郡ハ、東南隅ヨリ、海中ニ突出セル、一大岬ニ

シテ、其端ヲ三崎ト云フ、城島其前ニ當リ、此ヲ以

テ、海ノ内外ヲ分チ、東ハ安房ト相對シテ、内海ノ

口ヲ扼シ、西ハ伊豆ニ向ス、此海即相摸灘ナリ、

浦賀ハ、内海ニ臨メル、佳港ニシテ、觀音崎、横須賀、

灣其東北岸ニ連レリ。

鎌倉ハ三崎ノ西北ニ在

リテ外洋ニ面ス西ニ稻

村崎江島アリ此地ハ源

賴朝以來世々ノ霸府址

ニシテ古蹟多シ

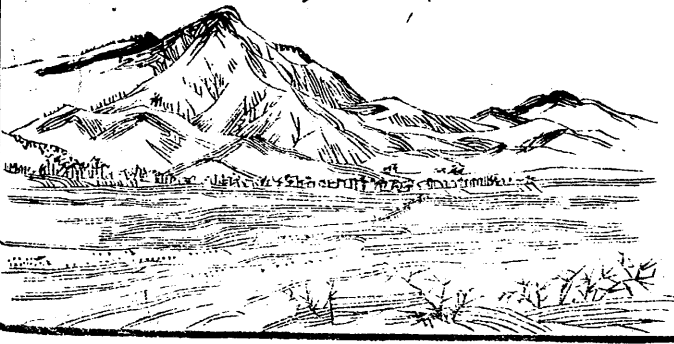
雨降山世一大山ハ國ノ

中央ニ位セル高山ニシ

テ山脈其後ニ連リ武藏

甲斐ニ接ス

高嶺ニシテ山脈南



足柄山ハ駿河ノ境ニ連レル高嶺ニシテ山脈南

ニ亘リ箱根山ニ至ル

箱根山ハ北足柄山ニ連リテ伊豆ノ境ニ擁ス山

上ニ湖水アリテ蘆湖ト稱ス下流北ニ赴キ復南

下シテ小田原ヲ過ギ海ニ入ルコレヲ早川ト云

フ早川ノ南岸ニ沿ヒテ温泉所々ニ沸キ出ブル

ヲ箱根七湯ト云フ

桂川及道志川ハ甲斐ヨリ來リ相會シテ馬入川

トナリ環流シテ南ニ赴キ外洋ニ入ル此川國中

ノ最タルヲ以テ或ハ呼ビテ相摸川ト云フ

金目川ハ、雨降山ノ溪流ヲ集メ、南下シテ、大磯ニ注ク、花水川是ナリ、酒匂川ハ足柄山ヨリ發シ南流シテ、小田原ノ東ニ至リ、海ニ入ル、

花水、酒匂、兩川、海ニ入ル所ノ間ヲ、古ハ小餘綾磯ト云フ、外洋ニ臨メル沙濱ニシテ、風色極メテ佳ナリ、

物産ハ、堅魚、章魚、蝦湯、木細工、貝細工、小田原梅干、鹽辛、水飴、山椒魚、紅花、根府川石等ナリ、

武藏國

東南ハ、下總相模及、内海ニ接シ、西北ハ甲斐信濃、

上野ニ界ス、秩父多摩、高麗、兒玉、加美、那賀、榛澤、幡

羅、男衾、比企、大里、横見、入間、新座、埼玉、足立、葛飾、豐

島、荏原、都筑、橘、樹、久良岐ノ二十二郡アリ、

武甲、三峰ノ諸山ハ、正面ニ峙チ、峯嶺相重リテ國

境ヲ擁ス、總テコレヲ秩父山ト云フ、

多摩川或ハ玉川ニ作ルハ、甲斐ヨリ來リ、秩父山ノ南ヲ

過ギ、東流シテ、羽田ニ至リ、内海ニ入ル、

多摩川以南ノ地ハ、岡陵起伏シ、山勢相重リテ、甲

斐相模ニ連ル、甲斐ノ境ニ小佛崎ノ坂路アリ、

荒川ハ、信濃ノ境ヨリ發シ、秩父山ノ北ヲ過キ、屈

曲シテ東ニ赴ク其下流ヲ隅田川ト云フ、

武藏野ハ多摩川荒川ノ

間ニ在リテ西ハ秩父山

ヲ限リ東ハ内海ニ至ル

昔時ハ廣漠ノ荒原ナリ

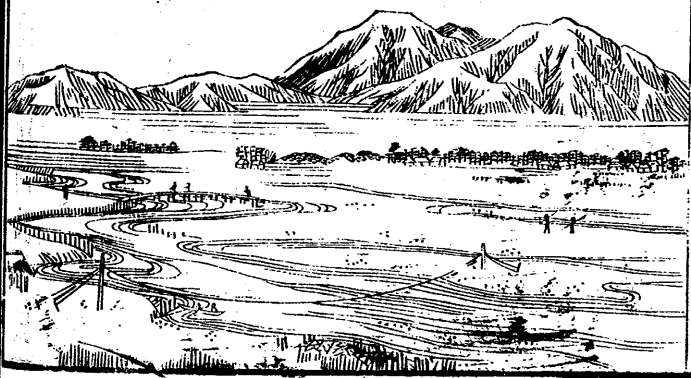
シガ今ハ田畝開ケ村市

相連レリ

入間川高麗川ハ廣野ノ

間ヲ環流シテ共ニ荒川

多摩川秩父山ヲ望ム



ニ入ル

荒川ヨリ東北ノ地モ亦平坦ニシテ窪下ノ地往

々藪澤ヲナシ川道縱横ニシテ皆舟ヲ通ズベシ

其中中川綾瀬ノ二川最運漕ニ便ナリ

甘樂川ハ信濃ノ境ヨリ發シ上野ノ國境ヲ東流

シテ利根川ニ入ル

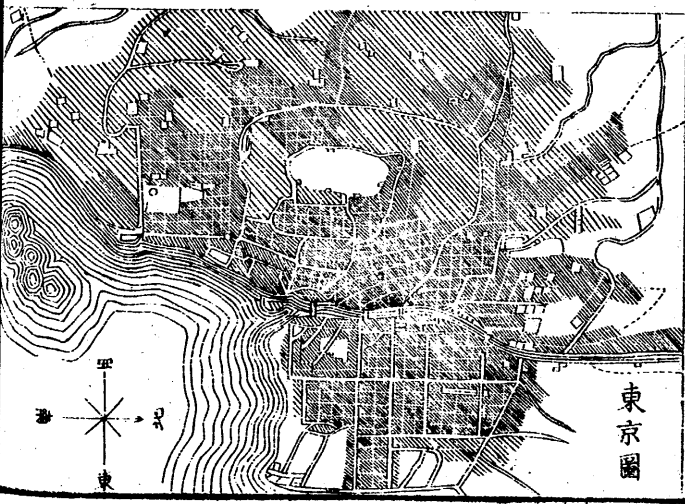
利根川ハ別レテ兩派トナリ支流ハ南ニ赴キ内

海ニ入ル此水ヲ以テ下總ノ境トセリ

東京ハ三府ノ一ニシテ内海ニ臨ミ隅田川ニ

跨レル大都ナリ徳川氏府ヲ此地ニ開キシヨ

リ以來、二百七十年、稱
 シテ江戸城ト云フ、明
 治元年ニ至リテ、皇居
 フ定メ、東京ト稱ス、
 都ノ中央ヲ、日本橋ト
 ナス、街市ノ間ニ、溝渠
 ヲ疏シテ、海水ヲ導キ、
 運漕ニ便ニシ、橋ヲ架
 シ、路ヲ造リ、車馬ノ往
 來ヲ通ス、日本橋ノ南



ニ入ル、

富士川ハ、甲斐ヨリ來リ、富士山ノ西麓ニ沿ヒ、南
 流シテ、海ニ入ル、水勢極メテ急ナリ、
 大井川ハ、信濃ノ境ヨリ出デ、遠江ノ境ニ沿ヒ、
 南流シテ海ニ入ル、
 富士大井兩川ノ間、川流極メテ多ク、皆奔流激湍、
 架スルニ橋ヲ以テスベカラズ、其中ニ、最大ナル
 者ヲ安倍川トス、
 安部川ハ、甲斐ノ境ヨリ發シ、南流シテ、蘆久保ヲ
 抱キ、静岡ヲ過ギテ海ニ入ル、

江尻川、興津川ハ共ニ源
 ヲ北境ヨリ發シ、南ニ赴
 キ、清見瀉ニ注グ、
 清見瀉ハ、田子浦ノ西濱
 ニ在リ、薩埵山北岸ニ突
 起シ、三保松原其南ニ横
 ハリ、白沙青松海面ニ斗
 出レテ、灣ヲナス、灣内ニ
 清水湊アリ、
 久能山ハ、清水湊ノ西ニ

清見瀉圖



聳エ、海ヲ隔テ、伊豆ノ雲見崎ト相對シ、自ニ大
 灣ヲナス、

静岡ハ、舊府中ト稱ス、城市繁盛ナリ、賤機山其
 後ニ聳エ、東ハ、清水湊ニ連リ、風色絶佳、運漕ニ、
 亦便ナリ、

物産ハ、興津綱、蒲原鮎、漆器、竹器、紙、茶、太布、竹、砥石、
 蜜柑、香茸等ナリ、

甲斐國

東南ハ、武藏相模、駿河ニ界シ、西北ハ、信濃ニ接ス、
 巨摩、八代、山梨、都留ノ四郡アリ、

全國富士山ノ陰ニ在リ、群山四境ヲ環リ、中間ハ地勢稍平坦ナリ、

金峰山ハ北ニ聳ニ、信濃ニ跨リ、雁坂峠、其東ニ峙テリ、

八岳ハ、金峰山ノ西ニ在リ、八峰突起シテ、其山脈信濃ニ連レリ、

駒嶽、白峯、鳳凰等ノ諸山ハ、西境ヲ限レル峰嶺ニシテ、深山重疊、南七面身延ノ諸嶺ニ亘レリ、

天目山ハ、大菩薩峠及雁坂峠ノ南ニ峙チ、其山脈南ニ亘リテ、笹子、大石、十二岳等ノ諸嶺トナリ、富

沖ト稱ス、潮流甚急ナリ、

物産ハ、紫菜、水仙、木綿蠟、牡蠣、磨砂等ナリ、

上總國

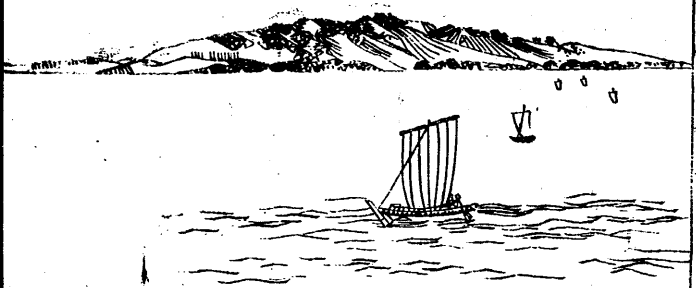
東南ハ外洋及安房ニ接シ、西北ハ内海及下總ニ界ス、天羽、周准、望陀、夷隅市原、塩生、長柄、山邊、武射ノ九郡アリ、

地形、南ハ山嶺相連リ、北ハ原野平行ニシテ、東西共ニ海ニ臨ミ、安房ト接シテ一ノ半島ヲナス、

鹿野山、高岩山ハ、内海ニ臨ミタル高山ニシテ、其後面ハ、山嶺重疊、安房ノ銚山ニ連レリ、

大東崎ハ大洋ニ突出シ
 テ南ニ勝浦興津ノ二港
 アリ此崎ヨリ北ノ海濱
 ラ九十九里ト云ス下總
 ニ連リテ東大洋ニ向ヘ
 リ
 此國ニ川流數條アリ共
 ニ源ヲ安房ノ境ヨリ發
 ス大多喜川ハ東流シテ
 大東崎ノ南ニ注ギ養老

鹿野山圖



小櫃小糸ノ諸川ハ皆西流シテ内海ニ入ル
 富津洲ハ内海ニ斗出スルコト三里餘相摸ノ觀
 音崎ト相對ス
 木更津五井ハ内海ノ濱ノ都會ニシテ舟楫ノ往
 來常ニ絶エズ
 物産ハ紅花茶海苔煙草木綿蠶等ナリ

下總國

東南ハ大洋及上總ニ接シ西南ハ上野武藏及内
 海ニ連リ北ハ下野常陸ニ界ス葛飾相馬印幡千
 葉殖生香取匝瑳海上豐田岡田猿島結城ノ十二

郡アリ、

全國平坦ニシテ山ナク、原野殊ニ多クシテ、日本第一ノ平地タリ、

小金原ハ、西境ニ亘リ、六方野ハ、南境ニ連ル、共ニ

廣漠ナル大野ナリ、小金原ハ、舊牧場ヲ設ケ、野馬

ヲ育センガ、近來漸々開墾ノ事ニ從ス、

印幡沼ハ、國ノ中央ニ在リ、屈曲數里ニ亘ル、其他

手賀沼、長沼等、共ニ大ナリ、諸沼ノ水、皆此ニ流出

シテ、利根川ニ入ル、

利根川ハ、又坂東太郎ト稱ス、武藏上野ノ間ヨリ

來リ、關宿ニ至リテ、分レ

テ兩川トナリ、本流ハ東

下シテ、霞浦ノ下流ト會

ヒ、銚子港ノ口ニ注グ、コ

レヲ常陸ノ境トス、支流

ハ、南ニ赴キ、武藏ノ境ニ

沿ヒテ、行徳ヲ過ギ、内海

ニ入ル、

利根川ノ北、四郡岡田 栗山 磯城 磯城

ノ地ハ、常陸下野ノ間

銚子口圖



利根川

日本地理略考
二 夾マリテ、其境犬牙ノ如ク、相交レリ、絹川、小貝川ハ、共ニ下野ヨリ来リ、環流分派シテ、各利根川ニ入ル。

鉾子ハ利根川ノ河口ニシテ、繁華ノ港ナリ。

犬吠崎ハ、東洋ニ突出シ、鉾子ノ口ヲ擁ス、岩礁波上ニ峙ラテ、舟行甚艱ク、崎ノ南濱ハ、即九十九里ナリ。

物産ハ、馬、鯉、鮭、茶、西瓜、佐倉炭、結城紬、鉾子縮、醬油、味噌、酒、行徳鹽等ナリ。

常陸國

東南ハ大洋及下總ニ接シ、西北ハ下野磐城ニ界ス、久慈多賀茨城鹿島行方新治筑波真壁信太那珂河内ノ十一郡アリ。

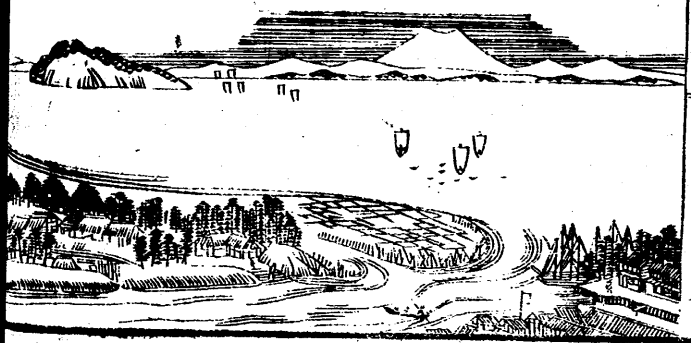
國ノ北境ハ、山岳重疊シテ、西南ハ、平野遠ク下總ニ連レリ。

筑波山ハ、平野ノ間ニ突出シテ、國ノ中央ニ聳エタリ、蘆穗加波ノ兩山、其北ニ竝峙ス。

霞浦ハ、袤延十里、東方ノ大湖タリ、行方郡湖中ニ斗出シテ、西浦北浦ヲ分ツ、其水ハ、南流シテ、利根川ニ入ル、此間ハ、支流縱横、平野ヲ畫ギル、潮來ノ

十六島 卽是ナリ、
 鹿島浦ハ、東洋ニ面ヒテ
 北浦ヲ背ニス、其海濱北
 ニ亘リテ、那珂港ニ至ル、
 那珂川ハ、下野ヨリ來リ、
 東流シテ、水戸ヲ過ギ、千
 波沼、廣沼ノ水ヲ併セテ、
 海ニ入ル、河口ハ、卽那珂
 湊ナリ、
 久慈川ハ、磐城ヨリ來リ、

圖ハ聖ヲ山波筑ヲ隔ヲ浦霞



彎流シテ、東ニ赴キ、太田ノ東ニ至リ、里川ヲ併セ
 テ、久慈浦ニ注グ、

金砂月居ノ諸山ハ、久慈川、里川ノ間ニ聳エタリ、
 其東ニ高鈴山アリテ、高ク時々大洋ニ臨メリ、

八溝山ハ、磐城下野ニ跨ル、大山ニシテ、連山其東
 ニ屏列シ、國境ヲ限レリ、

鳥子山ハ、下野ノ境ニ聳エル、高嶺ニシテ、山勢北
 ニ亘リ、八溝山ニ連ル、

名古屋ハ、東北ノ界ニシテ、磐城ノ境ニ跨レル、坂
 路ナリ、其關ハ磐城ニ屬シ、古來有名ノ所ナリ、

平潟港ハ、鶴子崎ノ南ニ在リ、亦有名ノ港ナリト雖、港内甚狭クシテ、海船二三艘ヲ泊スルニ過ギス。
物産ハ、石炭、磁石、茶、桑、楮、鮭、鯉、鱈、煙草、紙、生糸、木綿、銅器、漆器等ナリ、

日本地誌略卷之一終

明治十四年五月五日翻刻荷届
明治十四年六月三十日出版

熊本縣士族

出版人

林 正常

發兌

自助社

熊本區新貳丁目

肥後國宇土郡宇土町五百二十五番地

長岑次郎

賣捌書肆

中山真吉

同 古川町

永田儀八郎

同 新三丁目